

公立保育園再整備

こども部保育運営課

1 これまでの検討経過

- (1) 令和3年度 柏市保育のあり方検討懇談会による検討
- (2) 令和4年度 柏市子ども・子育て会議による検討（諮問）
「柏市保育のあり方に関する基本方針（令和5年3月）」
- (3) 令和5年度 柏市子ども・子育て会議及び健康福祉審議会児童健康福祉専門分科会による検討

「柏市公立保育園再整備検討報告書（令和6年5月）」（別添資料2-2）
（報告書の概要）

- 公立保育園の再整備に係る「機能・設備」「時期」「再整備手法及び検討フロー」等を整理
- 建築年数により公立保育園22園を4グループに区分し、最も建築年数が経過した4園（若葉保育園、あけぼの保育園、豊住保育園、桜台保育園）をモデルとして、具体の敷地条件等を踏まえた再整備手法について建築の視点から検討

2 令和6年度の検討経過

- (1) 第11期第3回柏市行政改革推進委員会（7/1）
「第2期柏市公共施設総合管理計画（令和7～16年度）」を策定
重点取組となる対象施設は「庁舎」「近隣センター」「保育園」「学校」
- (2) 柏市子ども・子育て会議（第1回～第3回，5/24，7/29，8/28）

3 令和6年度の検討内容

- (1) 人口動態，保育需要
柏市の「将来人口推計」を基に未就学児童数，保育利用者数を推計した結果，保育利用者数は令和7年度をピークに減少傾向（微減）に移行する。
- (2) 再整備の課題
モデル4園の再整備手法（現敷地内建替え，敷地外仮設園舎設置による

建替え、移転整備)については、園の周辺道路や住宅環境、市有地の状況、保育士の意見等を考慮して検討。

(3) 園運営における課題

モデル4園の立地状況を考慮すると、柏第三小学校を活用可能な若葉保育園以外の3園は、工事期間中の園児、保護者、職員の安全確保が難しいため、園運営を行いながら現敷地内建替えすることは困難との結論。

4 今後の対応【第3回子ども・子育て会議資料抜粋】

(1) 若葉保育園

教育委員会及び庁内関係部署と協議しつつ、現敷地内での建替えについての検討を進める。

(2) あけぼの保育園、豊住保育園、桜台保育園

現敷地内での建替えが困難であり、未利用市有地を活用した移転建替も困難である。その一方で建物建築後の経過年数が50年を超えており、このまま移転建替等の用地を確保できないときは、建築後60年を目安に休園等の対応が必要となる。

そのため、事前周知を行った上で新入園児の受入れを段階的に停止しつつ、社会情勢や周辺の保育需要を考慮しながら再整備の方向性について検討する。

5 補足事項

各園の保護者には検討状況を共有し、ご意見を伺った上で、子どもの安全を最優先に検討する。